

ロータリー月間 今月：ロータリー親睦活動 来月：

6月13日の例会より

『次年度への引継ぎ』

会長代理あいさつ：沼田操 直前会長

毎日はっきりしない天気ですが、お身体には十分お気を付けください。本日は会長不在でピンチヒッターを務めます。よろしく願い



いたします。アメリカ、北朝鮮と首脳会談で合意文書に署名され世界情勢も明るさがみえてきました。但し北朝鮮には油断できません。特に日本は拉致問題が残っています。国会も問題山積ですが、高萩市は市長が交代し大いに期待。本日は次年度への引継ぎ、各委員長の皆様よろしく願いいたします。

幹事報告：福田文乃 幹事



2018 - 19 年度奉仕プロジェクト研究会開催の案内：7月28日（土）水戸三の丸ホテル。日立 RC から創立65周年記念式典の礼状。地区奉仕プロジェクト委員会から奉仕事業に関するアンケート依頼。地区から G 公式訪問時事前調査。ロータリー100周年実行委員会から記念ピンバッチのデザイン応募依頼。

その他報告：6月9日第1分区会長幹事会開催：

次年度会長幹事会の分担金：各クラブ年間 60,000円+期首会員一人 1,000円。ガバナー補佐事前訪問：9月19日（水）、ガバナー公式訪問：10月10日（水）。第1分区IM：平成31年1月26日（土曜）五浦観光ホテル大観荘。県北ローターアクトクラブ支援：期首会員×2,000円。ロータリー賞にチャレンジしよう。第1分区ゴルフ大会：11月18日（日）：茨城パシフィックホテル。RACについては青少年奉仕委員長と後日話し合うことになる。北茨城 RC からテニス・剣道大会の協賛の申し出。6月10日、地区会員増強セミナー参加報告：講師、2018年度国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダー水野功（東京飛火野 RC）氏、テーマは「会員基盤強化に向けて」。“参加して行動して”ロータリークラブと言われた。後日この内容はお伝えしたい。午後は会員増強委員会の村田文彦委員長より日立港 RC、しもだて紫水 RC の会員増強の事例報告、大高司郎公共イメージ委員長からは“ロータリー賞の受賞を目指して”の講演があった。その後、会長幹事別に分科会が行われた。会長グループの分科会は、会員増強について。各クラブの増員目標は3～4名と高い。ポリオ撲滅をロータリーブランドにしよう。

月 日	プログラム	担 当	6月13日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
6月20日	一年回顧	会長・幹事			
6月27日	反省会	親睦活動・家族委員会	29	13	12
7月4日	新年度方針／5大奉仕委員会方針	会長／5大奉仕委員長	出席率：54.16%		
7月11日	委員会方針	各委員長	前々週訂正：73.08%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町 2-65
常陽銀行高萩支店内

TEL/FAX：0293-24-0505

■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>

E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：鈴木直登
幹 事：福田文乃

例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

会報委員：上田良三、石 君平、石 平光、大高司郎
田所和雄、棚谷 稔、花園文熙、大河原浩

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

クラブ奉仕Ⅱ委員会：石君平 委員長

事業報告：会長方針に基づき、効果的な管理運営を図るため各委員会は当初計画通り活躍した。プログラムを充実し、クラブ活性化を図ること



とを掲げたが、「会員満足度アンケート」の評価は低く、さらに、コミュニケーションも十分に図られていないとの声もあり、今後の課題。クラブの奉仕活動については、HP の充実、新聞、地域雑誌等への情報発信に加え、Facebook 開設など新しいツールを活用して、外部へ情報を発信した。

次年度申し送り事項：全員が関与・参加できるプログラムを充実し、引き続き会員同士のコミュニケーションと高萩 RC の活性化を図って欲しい。

プログラム雑誌委員長：沼田操 委員長

事業報告：プログラムを充実し、例会の魅力を高め多くの会員が活躍の場を増やすことはなかなか難しい事でした。また、卓話をお願いする人が見つからずプログラムの変更があつたりしましたが、皆様のご協力がありなんとか消化することができました。

次年度申し送り事項：年間プログラムを見直し、卓話を充実し会員の活躍の場を増やして欲しいと思います。

出席・ニコニコ BOX 委員会：石君平 委員長

事業報告：例会や諸会合の出席率の改善がみられず、欠席者への連絡（会報やクラブ行事等）等が不十分だった。新たに、会報にメイクアップ会員名を記載し、他クラブや地区行事への参加会員を紹介した。ニコニコ BOX の拠金目標 80 万円に対し、6 月 6 日現在 74 万円、奉仕活動の原資確保の観点からも、もう少しなので協力願う。拠金について、多くの会員のコメントを紹介し、特にビジターのコメントも紹介、和やかな雰囲気になるよう気を配った。

次年度申し送り事項：欠席会員の事情等把握して、会長、幹事、親睦活動・家族委員会と協力し、会報、諸資料や懇親会の案内等を届け、出席を促すとともに退会防止にも意を注いで欲しい。

職業奉仕委員会：江尻寛 委員長

事業報告：青少年奉仕委員会と共催し、青少年の職業選択を援助する出前講座を高萩中学校と秋山中学校で実施した。地域企業の職場見学は平成 28 年 2 月から工事が進められてきた高萩市の新庁舎を見学した。外部講師を招き卓話を実施した。



次年度申し送り事

項：今後も各委員会が連携し職業奉仕の発展を目指して欲しい。

社会奉仕委員会：石 君平 副委員長

さくらの植樹については、会長が年度基本計画に掲げていたが、委員会の活動が後手に回り皆様にご迷惑をおかけした。5 月 6 日に上君田の 30 本植樹した、苗木代 5 万円、標識は 6 千円で社会奉仕委員会の年間予算内に収まった。

花貫川あじさい草刈り管理は、農道が舗装され、草刈り作業は棚谷会員と知人の皆様で年 3 回草刈りを行うことになった。少年柔道大会で高萩 RC 「のぼり旗」を作成、会場回りを賑やかにした。のぼりは英語スピーチコンテスト会場でも使用し、当クラブのイメージアップを図った。

国際奉仕委員会：大河原浩 委員長



事業報告：地区の国際奉仕研修協議会、研究会、セミナーに参加し、国際奉仕の理解を深めるとともに、第 2820 地区独自の奉仕活動である『この指とまれ』プロジェクトに協賛した。

今年度は大子 RC の「タイ東北・農村部の小学校への浄水器支援事業」、鹿島中央 RC の「看護系学校に進学した生徒の学費支援事業」へ、それぞれの賛助金（10,000 円）を送る。

次年度申し送り事項：

昨年賛助金を送った『この指とまれ』の事業について、経過報告を受けて欲しい。『この指とまれ』プロジェクトへの参加を継続して欲しい。グローバル補助金の活用を目指して、当クラブ独自の国際奉仕プロジェクトを立ち上げる準備を始めて欲しい。

ロータリー財団委員会：大高司郎 委員長



皆様のおかげをもちまして今年度寄付目標を達成しました。ご支援に感謝致します。

寄付目標の進捗状況：
(5月末現在)

クラブ年次寄付目標：クラブ全体目標額 \$ ⇒ 5,925 \$ (達成率 151.9%)

(1993 - 94 年度時の会員 41 名 7,600 \$ 以来、クラブ創立 2 番目の寄付額)

個人年次寄付：\$ 130/1 会員 目標額 ⇒ \$ 196.28/1 会員 (達成率 151.9%)

(一人当たり平均額、クラブ創立以来最高額)

クラブポリオ・プラス寄付目標：クラブ全体の目標額 \$ 600 ⇒ \$ 780.37 (達成率 130%)

・個人ポリオ・プラス寄付：\$ 20/1 会員 ⇒ \$ 26/1 会員 (達成率 130%)

クラブ恒久基金目標 (ベネファクター) : \$ 1,000/1 名 ⇒ \$ 1,000/1 名 鈴木会長

当クラブ 9 人目、主に会長を中心として 2012-13 年度から 6 年連続達成している。

表彰： (5月末現在)

ロータリー財団表彰 (個人)： PHF/1 名、PHF+1/1 名、PHF+2/2 名、PHF+6/1 名、PHF+8/1 名、メジャードナー (レベル 1：上田会員) 1 名、恒久基金/1 名。

メモリアル・コントリビューション (Memorial Contribution)： 2017 年に亡くなった家族 (母) を記念した寄付があった。

R I 財団表彰 (クラブ)： 2016-17 年度 (沼田操年度) 「Every Rotarian Every Year Club」

(ロータリー年度の会員一人あたりの年次基金への平均寄付額が 100 ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも 25 ドル以上を寄付したクラブ) 「100% Foundation Giving Club」

(ロータリー年度の会員一人あたりの平均寄付額が 100 ドル以上であり、正会員全員が次のいずれか (またはすべて) に少なくとも 25 ドル以上を寄付したクラブ：年次基金、ポリオ・プラス基金、ロータリー財団が承認した補助金、恒久基金)

活動報告

ロータリー財団月間：11 月 1 日、大津宣明ロータリー財団資金管理委員長 (勝田 RC) の出前卓話を

実施し、R 財団の理解を深めた。

補助金活用 (地区補助金：1,000 \$、英語スピーチコンテスト、グローバル補助金なし)

地区主催の各セミナーへの参加

- ・7月 8日 (土) ロータリー財団研究会
- ・12月 10日 (日) 社会奉仕・ロータリー財団合同セミナー

次年度申し送り事項： 年次基金とポリオ基金を中心に、「Every Rotarian Every Year」の精神のもと、一人当たり 150 ドル (年次+ポリオ) 以上の寄付をお願いします (クラブ会員、全員の寄付が望まれます)。R 財団月間に出前卓話を実施し、より会員の理解を深めて下さい。地区補助金事業の継続・充実のため、関係者間連携が深まるような配慮をお願いします。

米山記念奨学会委員会：石川武信 委員長



事業報告： 奨学生 魯楊志誠君 (茨城大学 情報工学科専攻) を迎え、毎月席替えを実施。夜の行事にも積極的に参加。納涼会、観月

会、忘年会、観桜会、北茨城 RC との合同新年会、第一分区 IM、ガバナー公式訪問、地区大会、英語スピーチコンテストでは審査員を務めた。卓話を積極的に発表し、準世話クラブの日立南 RC を訪問。会員には寄付金を強制でなくいかに善意で提供してもらえるかに苦慮した。5 月末現在、期首会員 30 名中特別寄付会員 17 名、56.7% が寄付協力。一人平均 18,700 円と次年度に課題を残す。

次年度申し送り事項： 全会員が特別寄付に協力して欲しい。

SAA：小森勇一 委員長

本年度より、4 名委員の構成として、組織的な対応を強化した。担当を分担した結果、負担が少なくなり、多様性も見られ、良かった



と思われる。一方、組織的な強化によって、会場設営や、ロータリーソング、ビジターのお迎え、おもてなしの工夫など、楽しい例会につながる工夫を意図していたが、今後さらに組織的な取り組

みを工夫する必要がある。
 従来から事務局に任せていた部分も多く、新事務局体制が整ってきたので会場監督が行う仕事と、会場設営などで、任せる部分の仕事と調整が必要と思われる。従来、食事等については、事務局に委託してきたが、SAA として、会員の要望などを聞き、楽しい例会を目指し、事務局との協働体制を育てたい。夜の例会は出席率向上を目指したが、会場設営、旗の掲示など、会場構成が十分とはいかず、解決すべき課題が多い。

～ 各委員会の申し送り事項を聞く会員 ～



2018-19 年度 R I 会長 バリー・ラシン会長
 (バハマ、イーストナッソー・ロータリークラブ所属) の願いは ロータリアンが「インスピレーション」になること。



2018-19 年度第 2820 地区 高橋賢吾ガバナー
 (水戸西ロータリークラブ所属)
 地区スローガン『ロータリーの心と力を地域社会へ』としました。このスローガンにより、私たちロータリアンの篤い心と団結力を



もって、青少年や地域社会と共に活動することにより、地域社会の活性化とクラブの活性化を図りたいと思います。

【メイクアップ】

6月5日 北茨城 RC 沼田操

6月9日 第6回会長・幹事会 福田文乃

6月9日 第1回会長・幹事会
 福田文乃、大河原浩

6月10日 会員増強セミナー
 大高司郎、福田文乃、大河原浩

【ニコニコ BOX】



大河原浩さん：会員増強セミナーに参加してまいりました。次年度は新会員を確実に入れたいと思います。

田所和雄さん：米朝首脳、トランプ、金の初会談。ワールドカップ、サッカー日本代表チームの国際親善大会の初勝利。昨日は良いことが重なりました。

小森勇一さん：引き継ぎの時期、未来にむけて、すてきなビジョンを育てたいですね。

上田良三：血糖値近く早退します。

石君平さん：引き継ぎの例会になりました。一年が早すぎます。石川武信さん、江尻寛さん、横倉稔明さん、花園文熙さん

福田文乃さん：水戸プラザホテルに行って来ました。会員増強セミナーにです。

大高司郎さん：トロントの国際大会に行ってきました。2週連続で例会欠席しますが、よろしくお願い致します。

沼田操さん：今年度もあと少しと成りましたね。1年の経つのが早いですね。これも年を取った証拠ですね。先日花園神社で傘寿の祝をしてきました。

本日計 14,000円
 累計 754,000円

【ロータリー財団】

本日計 12,700円
 累計 756,100円

【ポリオプラス】

【米山記念奨学会】

本日計 2,000円
 累計 396,500円